

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)

【公開番号】特開 2014-183704 (P2014-183704A)  
 【公開日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-053  
 【出願番号】特願 2013-58318 (P2013-58318)  
 【国際特許分類】

H 0 2 K 1/16 (2006.01)

H 0 2 K 21/14 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/16 C

H 0 2 K 21/14 M

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 3 月 18 日 (2015.3.18)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 2 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 2 9】

以下、図 3 ~ 図 1 4 を参照して本発明の特徴的構成について、実施形態 1 ~ 4 に基づいて説明する。なお、以下の実施形態では、固定子のティースに捲回されるコイルは分布巻きとしている。したがって、図 7 ~ 1 0 および図 1 3 ~ 1 4 で示す計算結果は、分布巻きに対するものである。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 5 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 5 3】

上記の実施形態 1 ~ 4 の説明をまとめると以下の通りである。本発明では、ティースの先端部の形状とスロットの開口幅とを周方向に F 回（ただし F は 2 以上の自然数）周期的に変化させることにより、周期境界条件を変えことなく、振動・騒音に影響する接線方向電磁加振力高調波の振幅を低減できる。上記では説明していないが、8 極 1 2 スロットあるいは 1 0 極 1 2 スロットの回転電機においても、本発明による回転電機の構成が適用できることが分かっている。